

「群馬県支部会報」

発行
令和6年10月1日
公益社団法人 日本技術士会
群馬支部 広報委員会

ごあいさつ

支部長メッセージ

ごあいさつ

公益社団法人 日本技術士会
群馬県支部 支部長 山本 政雄
(上下水道 / 総合技術監理部門)



群馬県支部長の山本政雄です。今期もどうぞよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスが5類に移行した後、日本技術士会としての活動のみならず社会活動全体が活性化に向けて様々な取り組みを進めていると考えております。

全体会合は講演会も含めてWeb開催とさせていただき事となりましたが、そのほかの活動としては、昨年は桐生市におきまして群馬大学が進めております建材のウッドチップブロックや低速コミュニティバスの見学とこれらの取組の中心で活躍されている群馬大学のお二方の教授の講演会をセットにした行事を行いました。それも会員の皆様のご努力と創意による活動のたまものであると感謝する次第です。

技術士の使命として、公衆の安全・福利を最優先することや持続可能な社会の実現を進めていくうえで、ウクライナ等の戦争継続や資源エネルギー問題、地震や気候変動とその影響と思われる災害の発生は、社会経済活動においてさまざまな制約を与えていることは否めません。こうした中で社会の持続的発展に貢献する技術士の活動はこれまで以上に期待されていると考えております。

今後とも皆様が業務やさまざまな活動において活躍されますよう、群馬県支部といたしましても、本支部の活動がその一助となるよう取り組みを進めて参る所存です。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

第 13 回全体会合

■日 時: 令和6年7月19日(金) 午後 13:30~14:15

■場 所: Web による会議

■次 第: 1 支部長挨拶

2 議 事

- (1) 令和5年度事業報告
- (2) 令和5年度決算報告
- (3) 令和6年度事業計画について
- (4) 令和6年度収支予算について

※ 議事内容は、特に異議なく報告されました。



■ 統括本部から小林総務委員長(写真)と西村総務委員が参加

事業計画

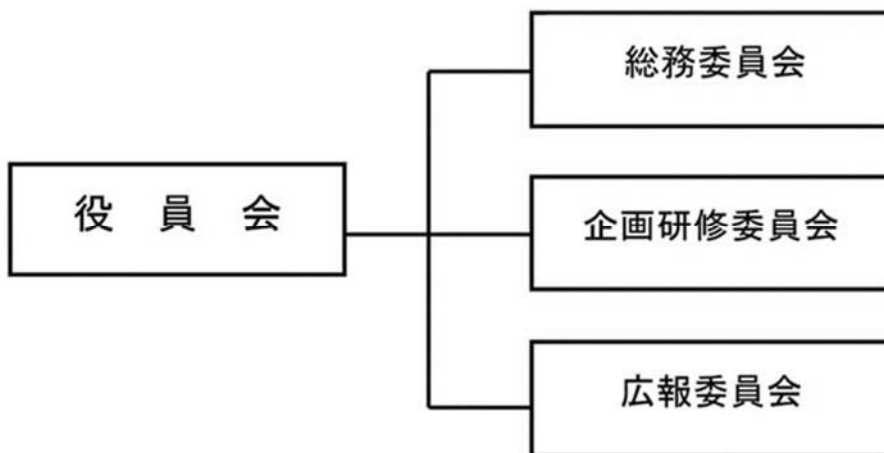
■活動方針 *昨年度と同様(継続)

- ・地域密着型の積極的な技術士活動の促進による地域貢献
- ・社会的ニーズに応え得る技術士の研鑽活動
- ・技術士の更なる知名度向上

[全体会合(本会)、CPD 講演会や見学会の実施、令和6年度役員会議、支部会報の発行等]

組織

■会員数 正会員107名 準会員39名 計146名(令和6年4月末日現在)



■幹事名簿並びに所属委員会

氏名	部門	令和5年度・6年度役職名 ・委員会名
岩井 健吉	建設	幹事、企画研修委員
大竹 雅久	機械	幹事、企画研修委員長
小池 広明	建設、総合技術監理	幹事、広報委員長、防災担当
佐藤 孝史	上下水道、建設、衛生工学、総合技術監理	幹事、副支部長、総務委員
住谷 英樹	上下水道	幹事(会計)、総務委員
福田 文彦	応用理学	幹事、企画研修委員
眞下 寛治	機械、	総務委員、事務局
松栄 準治	機械	幹事、広報委員
松本 稔	上下水道、総合技術監理	幹事、広報委員
山本 政雄	上下水道、総合技術監理	支部長、総務委員長

講師紹介

「カーボンニュートラルに必要な水素利用技術」

市川貴之

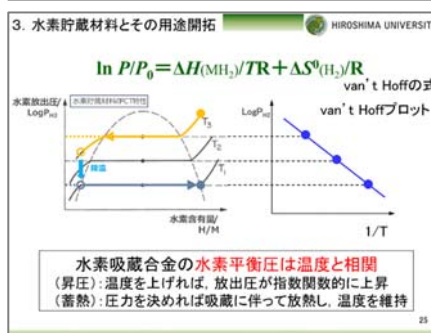
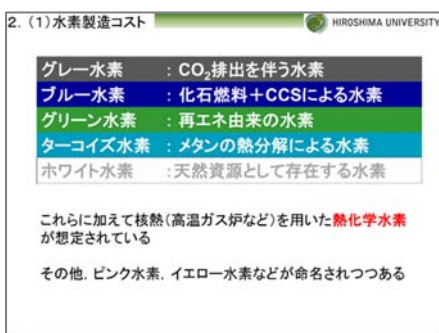
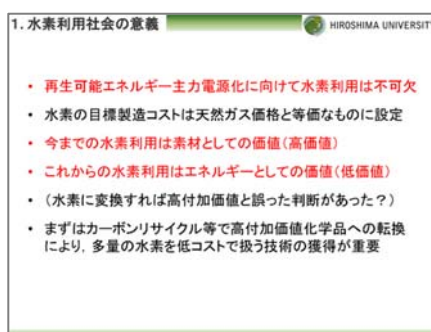
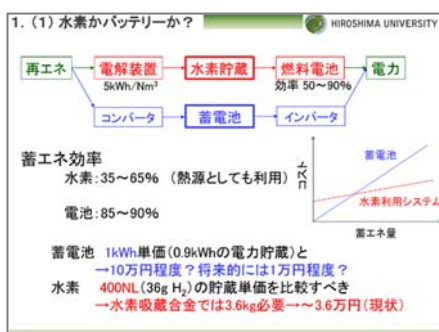
広島大学
大学院先進理工系科学研究科
教授 博士(工学) A-SSG工学基礎研究センター長
カーボンリサイクル実証プロジェクト研究センター長



講師：市川 貴之 様

[広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授]

講演の様様



感想

今回は、「水素」利用の高付加価値化及び低コスト化に向けた研究内容です。難しい内容でしたが、先生が具体的にわかりやすく説明してくださいました。

水素を再生可能エネルギーの主力電源化に向けて研究開発する内容は、様々な分野の技術者にとって興味のあるところだと思います。特に熱化学昇圧システムにおける「水素吸蔵合金」で世界初の事例となった動画は、ワクワクしてみたいです。今後の実用化に向けて、研究開発の展開を期待したいと思います。